

共演者プロフィール

榎本 潤（えのもと・じゅん／ピアノ）

国立音楽大学ピアノ専攻科を経て同大学院を修了。小林道夫、柳川守、ダン・タイ・ソンの各氏に師事。第34回北九州芸術祭にて最優秀伴奏賞及び全日空賞受賞。ソリストとしてモスクワ・フィルハーモニー管弦楽団等と共演。また、岡本知高氏をはじめ多くの著名アーティストと共演を重ねる。その他チェンバロ、指揮、作曲、編曲など多方面で活躍。BS-TBS『日本名曲アルバム』、BSテレビ東京『おんがく交差点』等に出演。現在、国立音楽大学及び同大学院非常勤講師（ピアノ）。声楽アンサンブル『Jスコラーズ』音楽監督。

壺阪 健登（つばさか・けんと／ピアノ）

1994年生まれのピアニスト、作曲家。バークリー音楽院を首席で卒業。2024年にソロ・ピアノとしてのデビュー・アルバム「When I Sing」をユニバーサルミュージック（Verve）よりリリース。2024年「ラブソディ・イン・ブルー」を東京フィルハーモニー交響楽団と共演。石川紅奈とのユニット「soraya」ではFUJI ROCK FESTIVAL '24にも出演するなど、ジャンルを超えた多彩な才能で注目を集めている。

～同調会からのお知らせ～

「くにたち賞」〔第9回受賞候補者推薦受付中〕

「くにたち賞」は、2017年に本会が創設し、同調会員の中からその活動・実績・功績が顕著である人物（または団体）を会員の推薦に基づき表彰するものです。大賞・奨励賞の2部門があります。

第9回（2026年度）の受賞候補者推薦受付期間：2025年7月20日（日）～2025年11月30日（日）

推薦は郵送とWebサイトにて受け付けております。
詳細は、国立音楽大学同調会Webサイトをご覧ください。
<https://dochokai.kunitachi.ac.jp/>



アンケートご協力をお願い

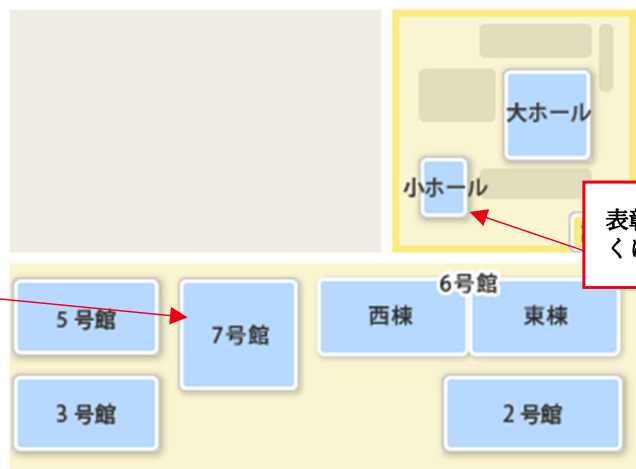
Webにてアンケートを実施しております。ホームカミングデイのご感想をぜひお寄せください。
QRコードまたは下記アドレスよりアクセスをお願いいたします。
<https://forms.gle/4s9CepjLi7AN5wAE7>



Campus Map

移動の際、ご参考になさってください！

懇親ティーパーティー 会場



表彰式・トーク&コンサート、
くにたち写真展 会場

ホームカミングデイ2025

第8回くにたち賞表彰式 受賞者によるトーク&コンサート

2025年11月1日（土） 講堂小ホール

主催 国立音楽大学同調会

※お願い：公演中の写真、動画の撮影、音声の録音は禁止しております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第1部 第8回くにたち賞表彰式

開 式
主催者挨拶
表 彰
祝 辞
閉 式

〈大賞〉	梅 田 英 春 氏 岡 本 知 高 氏
〈奨励賞〉	佐 藤 隆 紀 氏 松 井 秀太郎 氏

第2部 受賞者によるトーク＆コンサート

- 1 松井 秀太郎（ジャズセッション）／Pf. 壺阪 健登
～スペシャル セッション～
- 2 佐藤 隆紀（テノール独唱）
ミュージカル《レ・ミゼラブル》より 〈彼を帰して〉
ミュージカル《ジキル&ハイド》より 〈時が来た〉
マイ・ウェイ
- 3 梅田 英春（お話）
「国立音楽大学におけるバリ島のガムランとの出会いと学び」
- 4 岡本 知高（ソプラノ独唱）／Pf. 榎本 潤
歌劇《蝶々夫人》より 〈ある晴れた日に〉—————G.プッチーニ
一本の鉛筆—————作詞：松山 善三 作曲：佐藤 勝 編曲：岡島 礼
懐かしの抒情歌メドレー—————編曲：村松 崇継／榎本 潤

出演者プロフィール

梅田 英春（うめだ・ひではる／民族音楽学者、静岡文化芸術大学教授）

国立音楽大学楽理科在学時代にバリの芸能に出会い、卒業後、インドネシア政府奨学金を得てバリのインドネシア芸術アカデミー（現国立インドネシア芸術大学）でバリの芸能を学ぶ。帰国後は、東京、静岡、島根、沖縄において、ガムラングループを設立し後進の指導を行う。また、桜美林大学大学院、総合研究大学院大学でバリのワヤンと儀礼に関する研究を行う。沖縄県立芸術大学音楽学部准教授、ライデン大学客員研究員を経て、静岡文化芸術大学文化政策学部教授。専門は民族音楽学。またガムラン奏者、ワヤン人形遣いとして国内外で公演活動を行うほか、『バリ島ワヤン夢うつつー影絵人形芝居修業記』（2009）、『バリ島の人形影絵芝居ワヤン』（2020）などの多数の著書・論文がある。

岡本 知高（おかもと・ともたか／ソプラニスタ）

ソプラニスタの中でも類稀な「天性のソプラニスタ」の歌声を持つ。テノールやバリトンの声は併せ持っており、変声後も強靱なソプラノの音域のみが自然に維持され続けていたことから、国立音楽大学卒業演奏会より「ソプラニスタ」と名乗り始める。

国立音楽大学を卒業後、フランスのプーランク音楽院を首席で修了。心の深淵に温かく響く唯一無二の歌声は「奇跡の歌声」と称され、個性的なキャラクターとコスチュームも併せてコンサート活動、舞台作品出演、テレビ番組出演、国際的なスポーツイベントでの国歌独唱など各方面からの呼び声も高い。

佐藤 隆紀（さとう・たかのり／LE VELVETSメンバー、テノール歌手）

福島県喜多方市出身。国立音楽大学声楽専修卒業。テノール。クラシックのみならず、多彩なジャンルの音楽を重厚感と迫力のある歌声で創り上げているヴォーカル・グループ「LE VELVETS」のメンバー。ソロとしてもミュージカル俳優としてグランドミュージカルを中心に活躍。『レ・ミゼラブル』では、主演ジャン・バルジャンを19年、21年、25年と3期連続で務めている。主な出演作品は、『タイタニック』『ベートーヴェン』『エリザベート』『マリー・アントワネット』『マタ・ハリ』など。本年7月には、ソロコンサート「Sugary Box」（旧渋谷公会堂）を開催。

松井 秀太郎（まつい・しゅうたろう／ジャズトランペット奏者、作曲家）

国立音楽大学附属高等学校を経て同大学ジャズ専修を首席で卒業。矢田部賞受賞。大学在学中より自身のコンサートやアーティストサポートなど、本格的にプロ活動始める。2023年デビュー・アルバム「STEPS OF THE BLUE」、2024年セカンド・アルバム「DANSE MACABRE」をリリース。ジャンルを超えたマルチな才能が注目を集めている。これまで、テレビ朝日「題名のない音楽会」やMBS／TBS「情熱大陸」などメディアでも取り上げられ話題となっている。第36回ミュージック・ペンクラブ音楽賞《ポピュラー部門》新人賞受賞。